

創ろうみんなで夢のある社会



ふくい労福だより

Vol.25
2023年1月号

福井県労働者福祉協議会
<https://fukui-rofukukyo.com>



〔発行〕
福井県労働者福祉協議会
〒918-8231 福井市問屋町1丁目35番地
電話 (0776) 21-5929/FAX (0776) 21-2252

〔編集〕
機関紙編集委員会
〔発行人〕
小林一



福井県労働者福祉協議会
会長 横山 龍寛

創立60周年を迎える節目の年。 皆様とともにさらなる発展をめざします。



皆様には、健やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。収束を見通せないコロナ禍に加え、情勢不安からの物価上昇など私たちの生活は大変厳しい環境ではありますが、労福協の基本である共助・共生を念頭に、私ども福井県労働者福祉協議会も各事業団体一丸となった取り組みに心がけてまいりますので、本年の諸活動に対しまして、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、昨年は新たな取り組みとして、福井県をはじめ県内市町の労働行政担当課長会議を開催することができました。私たちが取り組む「労働者自主福祉事業」は、長い歴史の中で積み上げられた働く人が安心して暮らせるための制度であり、一人でも多くの皆様に広くご活用いただくことも大きな使命です。今回、自治体担当者との連携に足掛かりができたことを起点として、様々な可能性を皆様とともに活かしていきたいと思います。

さらに本年は、私どもに寄せられる相談内容が多岐にわたり、その課題が複雑に絡むことから、県内の各専門機関の相談員が集まり情報交換できるよう県に要請し、労福協も積極的な参加を予定しています。各方面の相談員との連携を図り、これまで以上に的確な対応ができるようステップアップしたいと考えています。

新たな取り組みはもちろん、「こころ支えるネットワーク事業」「防災減災フェア」「ライフプランセミナー」「奨学金相談」など生活を支える事業や、豊かな生活をめざした「勤労者美術展」などの定着事業におきましても、アンケート結果等を活かしながら効果の高い内容をめざし、全国の労福協とともに「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現を進めてまいりますので、各福祉事業団体をはじめ、労福協会員の皆様のご理解とご協力をいただきますよう重ねてお願い申しあげます。

結びに皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

2023年 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大による経済・社会・国民生活への影響は現在も続いている。世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻による平和問題や物価上昇、気候危機など、先行き不透明な状況に置かれています。一人ひとりが意識を変え、小さなことでも行動に移していくことが必要です。「誰ひとり取り残さない」包摶的で持続可能な社会を実現するために、取り組みを進めていきましょう。

私たちは今、目まぐるしく状況が変化する社会の中で、様々な課題への対応に迫られています。これまでの運動で培ってきた経験や、助け合い、支えあいの精神を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れてポストコロナ社会を見据えた運動に取り組んでいかなければなりません。「2030年ビジョン」の実現にむけて、労福協、労働団体、福祉事業団体がこれまで以上に連携を深め、一丸となって取り組みを進めていきましょう。

労働者福祉中央協議会
会長 芳野 友子



第72回 福井県勤労者美術展報告

主催：(公財)福井県労働者福祉基金協会・福井県・福井県労働者福祉協議会

12月15日（木）～12月18日（日）にかけ、福井県立美術館において「第72回 福井県勤労者美術展」を開催しました。応募数は、絵画の部75点（昨年比 1作品減）、書道の部60点（昨年比 4作品減）、写真の部71点（昨年比 13作品減）、チャレンジの部17点（昨年比13作品減）で、すべての出品の合計は223点となりました。また4日間の来場者数も893人となり、昨年より262名の増加となりました。出展していただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

**厚生労働大臣賞を受賞された
作品と受賞者名**



絵画の部
「山本山のおばあちゃん」
奥野 宏樹さん



写真の部
「お mataせ」
高山 広志さん



書道の部
「蘇東坡詩」
山本 鄭花さん

2023年 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆さまには健やかなる新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素は当庫に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、2019年1月に国内初の新型コロナウイルス感染者が発生して以来3年が経過しました。そしてその勢いが衰えないまま、昨年2月にはロシアによるウクライナ軍事侵攻が始まりました。さらに3月以降は急激な円安が進んだことにより、私たちの生活は一層厳しく将来不安も大きくなっています。このような中、当庫では勤労者および年金受給者の生活の安定を目的として、可処分所得を向上させるためのローン借換え運動や資産形成のための相談会の開催、および税制優遇のあるiDeCo（イデコ）、NISA（ニーサ）などの利用促進に取り組んでまいりました。

本年におきましても「働く人の夢と共感を創造する」福祉金融機関として、北陸地域に暮らすすべてのお客様の生活を全力でサポートさせていただきますので、引き続き、北陸労働金庫をご利用くださいますよう、衷心よりお願ひ申し上げます。



北陸労働金庫
理事長 山岸 克司

つみたてデビューを
ろうきんが応援します

はじめよう!
つみたて
キャッシュペーン

— 対象商品 —

財形貯蓄

エース預金

投資信託
(定時定額)

iDeCo

第1弾：2022年4月1日～終了しました！2022年9月30日(金)

第2弾：2022年10月1日(土)～2023年3月31日(金)

未来のために、おトクに資産を育てよう！

右記の対象商品を新規ご契約
(年間積立金額6万円以上)いただいた方に

抽選で
第1弾終了しました
150名様に

3,000円分
UCギフトカード
プレゼント！

● 抽選権利は第1弾・第2弾の各期間終了日実績による自動エントリー（申込不要）となります。● 対象商品1契約につき1口の抽選権利を付与いたします。● 当選は第1弾・第2弾を通じてお一人様1回限りとなります。● 賞品の発送「第2弾…2025年4月開催の当金庫理事会にて抽選を行い、当選発表は賞品の発送をもってかねさせていただきます。」2023年5月発送予定期● 賞品の個人情報は本キャッシュペーンの賞品の発送および色縁以外の用途には使用いたしません。また、その個人情報を第三者に譲り渡す場合は、同意を得ないで業務委託先以外の第三者に提供、開示することはありません。

2023年 年頭挨拶



新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より私どもの事業と運動に多大なるご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、「令和4年8月豪雨」さらには「新型コロナ感染症」の感染拡大により、多くの県民のみなさまが被害を受けることとなりました。あらためまして心よりお見舞い申し上げます。

さて、こくみん共済coopは今年度の組合員代表者会議において2025年度までの中期経営政策「変革と創造」をご確認いただき、その取り組みの基本として「お役立ち活動」と「共創活動」の深化、さらには「デジタル技術の積極導入」を取り組んでいく事としています。

2023年を迎える、これからもこくみん共済coopはさらなる進化にむけた活動を展開してまいりますので、是非とも今後の活動に注目をいただくとともに、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

こくみん共済 coop
福井推進本部

本部長 杉本 真一

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済 NEWS



公式キャラクター ピットくん

こくみん共済

火災共済

総合医療共済

マイカー共済

交通災害共済

団体生命共済

自然災害共済

せいめい共済

自賠責共済

新セット移行共済

こくみん共済 <全労済>

全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

2023年 年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

昨年は、引き続きの新型コロナウイルス感染拡大による様々な影響に加え、ロシアによるウクライナ軍事侵攻、広範囲にわたる物価高騰や超円安、さらには県内物流寸断を生じさせた南越前町を中心とする大雨被災など、国内外で歴史に残る多くの出来事がありました。

この様な中、ウクライナ緊急募金や大雨被災地支援・募金に取り組み、また、県から要請を受けて「コロナ感染自宅療養者食料支援品」のお届け業務を受託、さらには、SDGs推進の一環として県内11の企業・団体で「福井県フードバンク連絡会」を設立するなど、社会の平和と安定の確保に努めました。

改めて皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

今年は、組合員の幸せと地域社会のために、「人と地域にやさしい生協」をめざし、役職員一同、事業や活動に全力前進する所存です。

最後になりますが、労働者福祉協議会関係団体の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

福井県民生活協同組合
理事長 松宮 幹雄



自宅で
ラクラク
お買い物

copeの宅配 利用者急増中!



- スマートフォンで
便利に注文！
- 携帯・スマートフォン
からも登録できます！
キット注文(エフレンズ)ご
利用の場合はcopeの宅配
の登録が必要です。

子育て中の買い物は大変。カタログやインターネットで
ご注文いただいた商品をご自宅の玄関先までお届けします！

ご利用いただいている 組合員さんの声

母のすすめで加入しました。今は、エレベーターなしのマンション3階で、4歳の子がいる私にとって、玄関まで配送してくれる「copeの宅配」は、とても助かっています。かさばるトイレットペーパーや野菜の箱買い、お米などの重たい商品はすべて生協まかせです。



福井県内で
約6万人が
利用



✓「留守の時でもOK！」玄関先まで
お届けします！
✓こだわりの生協商品をご自宅でお買い物

新規加入キャンペーン実施中！

今、copeの宅配に加入手続きされると

人気商品を
4週連続
お試し利用
できます！



対象商品の中からご希望の商品2品を4週連続、配達時にお届け

まずはお気軽にお電話ください

お申し込み
お問い合わせ

0120-016-165

(受付時間)月～金/8:30～20:00 土曜日/9:00～17:00
※おかけ間違いがないように、番号をお確かめください。

Webからもcopeの宅配の
申込・資料請求ができます

WEBからの「copeの宅配」利用申込で
試入手続きをすると

さらに1000ポイント進呈！

※組合員でない方は、出資金(一口1,000円以上)をお支払いいただき、copeの宅配の加入手続きが必要です。※詳しくは担当よりご案内させていただきます

2023年 年頭挨拶



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は労働福祉会館（ユニオンプラザ福井）をご利用いただき、誠に有難うございました。

おかげさまを持ちまして、コロナ禍という状況ではありましたが、多くの方にご利用いただいたことにより、会館利用収入も昨年を上回る状況となっています。

これもひとえに労働福祉会館を応援していただいている各団体の方々のおかげと感謝申し上げます。今後も引き続き地域の方々や各団体の皆様方に親しみを持ち愛されるよう、安全で清潔を保持し、安心して気軽にご利用いただけるよう、会館運営に努めてまいりますので、変わらぬご利用を宜しくお願い申し上げます。

結びに皆様方のご健勝とご多幸をご祈念し、更にはコロナ禍が一日も早く終息することを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

福井県労働福祉会館
理事長 矢野 義和

働く人の福祉会館

ユニオンプラザ福井

是非ご利用ください！



＜ユニオンプラザ福井外観＞

＜住所：福井市問屋町1丁目35番地 0776-26-1828＞

ユニオンプラザ福井は165名が集える大ホール、約70台収容の駐車場、3階には喫煙室を完備しています。

館内無料Wi-Fiは、隅々までつながるようエリアを拡充しました。更に、web会議等にも対応しています。皆さまから親しまれる会館として、今後も努力してまいりますので、各種会議、講演、集会などに是非ご利用ください。



＜3F喫煙室＞



＜165名収容の大ホール＞



＜約70台収容の駐車場＞

設
置



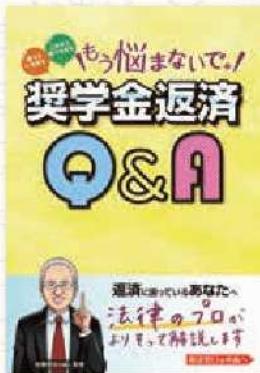
2022年度 活動報告

「奨学金問題に関する電話相談会」を実施しました!

福井県労福協では「奨学金問題に関する電話相談会」を、今年も11月9日～11日の3日間実施致しました。今回は中央労福協が集中電話相談を実施しないということで、福井県労福協独自の電話相談会となりました。電話相談会では、「奨学金と教育ローンを借りていて、返済ができないのでどうしたらよいか」等の相談が3件ありました。

奨学金の電話相談会は、通年で相談を行っていますので「奨学金で困ったり悩んだりしている方」がおられましたら、是非一度ご相談ください。また、中央労福協では、返済に悩んでおられる方へのガイドブックとして「もう悩まないで～奨学金返済Q&A～」を作成しています。福井県労福協ホームページで内容が確認できますし、ガイドブックが必要な方は、福井県労福協にメールで連絡いただければ送付いたしますので、ぜひご活用下さい。

福井県労福協



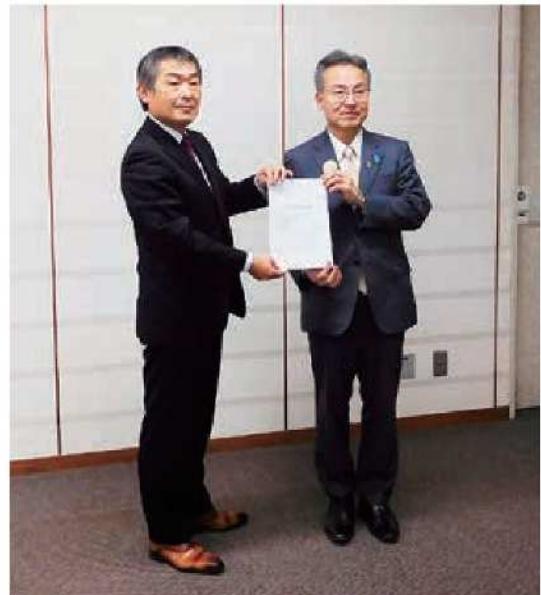
福井県労信協主催の「自治体担当課長懇談会」を、 福井県労福協が「福井県自治体担当課長会議」として 引き継ぎし開催することを確認する!

2022年12月2日(金)に福井県を始め福井県下17市町(当日の出席自治体は11市町)の担当者が参加をし、福井県労信協主催の「自治体担当課長懇談会」が開催されました。福井県労信協からは、日本労働者信用基金協会(以後:日本労信協)への事業譲渡に関する報告が行われ、2022年6月23日付で北陸3県労信協と日本労信協および北陸労働金庫の5者にて「事業譲渡に関する基本合意書」が締結され、その基本合意内容並びに移行スケジュール(予定)等が報告されました。また、福井県労信協が主催する「自治体担当課長懇談会」は、日本労信協への事業譲渡に伴い、今回が最後の懇談会になることも併せて報告しました。

その後引き続いて、福井県労福協より福井県労信協が主催していました「自治体担当課長懇談会」は、「福井県自治体担当課長会議」と名称を変更して、福井県労福協が引き継ぎ、開催の継続を確認しました。「福井県自治体担当課長会議」では、協議内容である『1:勤労者生活安定資金の制度改正と利用促進について』、『2:自転車の安全で適正な利用に関する条例に伴う個人賠償責任保障加入拡大の取組について』、『3:県内の生活困窮者自立相談支援機関窓口の一覧表の作成について』の3点をそれぞれの担当者から説明を行い、質疑応答の後、情報交換を行い福井県産業労働部 山口副部長(労働政策)からのまとめの挨拶をうけ終了しました。

令和5年度の予算編成期に 係る諸制度への要望書（抜粋）

12月16日（金）に福井県 杉本知事へ下記の6項目の要望書を県労福協 横山会長より提出しました。その後、要望書の趣旨説明と知事からの回答、意見交換会では各福祉事業団体メンバーから質問や現状の取組を報告しました。



杉本福井県知事への要望書提出

1. 地域共生社会づくりと相談支援について

長引くコロナ禍に加えて最近の急激な物価上昇は、これまでの相談内容からさらに複雑な悩みが混在するものとなっており、労働者が安心して相談できる場の必要性を強く感じている。労使相談センターの相談窓口の周知及び労働相談事業の継続をお願いする。

また、相談内容の複雑化に伴い、単独の相談窓口では解決に限界があるため、今後、県内の生活困窮支援関係機関による連絡会議等開催の折には、当協議会の参加についてご検討をお願いする。

2. 各事業団体が実施する事業関連の要請

(1) 制度融資「勤労者生活安定資金」の活用促進について

勤労者ライフプラン資金融資制度は、「勤労者生活安定資金制度」として昭和53年の制度発足以来、県下自治体統一制度として、福井県すべての自治体が参加し、築き上げてきた勤労者のための制度である。令和5年度からのリニューアルする「勤労者生活安定資金」を広く県民・勤労者の皆さんに周知し、家計負担を軽減することに役立てて戴くため、引き続き「県の広報誌・ホームページ」等に掲載し周知戴きたい。

(2) 福井県勤労者住宅資金利子補給制度の継続について

福井県勤労者住宅資金利子補給制度は、制度発足時から県内勤労者の住宅取得促進や借入費用の負担軽減など、勤労者への支援制度として非常に大きな役割を果たしてきた。次年度も是非とも制度の継続をお願いするとともに、今後さらに多くの勤労者の方にご利用いただくための見直し協議をお願いする。

(3) 教育ローン「奨学金借り換え専用プラン」について

奨学金の返済が、生活困窮の一因となっていると言われ、社会問題となっている。こういった現状を踏まえ、勤労者に対する金融支援を行うことは、協同組織としての役割である。教育ローン「奨学金借り換え専用プラン」を広く県民・勤労者の皆さんに周知して戴くため「県の広報誌・ホームページ」等に掲載し周知願いたい。

(4) 成年年齢引き下げに係る高校・大学における金融教育について

令和4年4月より成年年齢が18歳に引き下げられたことにより、金融経験の少ない若者が消費者トラブルに遭う可能性が懸念される。政府は対策として、高校の授業に「資産形成」分野の導入や、消費者ホットラインの充実等を掲げている。契約に関する知識を学び、様々なルールを知り自分自身で判断し、考える力を身に付けることが必要。そのためにも、高校・大学における講師の派遣や出前講座、関連DVDの視聴など、消費者教育を実施したいと考えており、高校・大学での授業で開講が実施できるようご協力をお願いする。

(5) 「こころ支えるネットワーク事業」の周知と県補助事業継続について

「こころ支えるネットワーク事業」は、県の補助事業「働く人の心健やかサポート事業」として実施している。仕事、人間関係に関する悩み等が多く、複数回相談をしてくるリピータの方も増加してきている。

今後もこの事業を県民の皆様に広く知っていただくため、県の刊行物やホームページなどへの掲載、県内各所へのチラシの配架などにご協力をお願いする。また引き続き、補助事業として運営に対する県のご指導とご支援をお願いする。



参加無料

ライフプランセミナー

相続・贈与等の税対策

「資産がないから相続なんて関係ない」と思っていませんか？

「相続」はすべての人が必ず関わるものです。今のうちに相続について学びませんか？

「知らなかつたでは済まされない！誰もが関わる相続・贈与 税対策」

講師 安田圭介（税理士・中小企業診断士・行政書士・AFP）



2004年に税理士登録、2015年中小企業診断士登録、2017年行政書士・ファイナンシャルプランナー登録、講師実績として、福井県商工会連合会、福井商工会議所、福井税務署、中小企業基盤整備機構、福井県中小企業団体中央会、日本銀行、日本政策金融公庫、(株)TKC、積水ハウス株、大和ハウス工業株、ジブラルタ生命、大同生命、(株)タッセイ等、年間80回以上の講師を務める。得意な講義テーマは、生命保険活用、不動産投資、相続税・贈与税・消費税、事業継承、経営戦略・マーケティング、マイナンバーと幅広いジャンルでのわかりやすい講義に定評がある。実務においてもクライアント数、法人140社個人50社に対して経営支援を行っている。

◇開催日：令和5年2月25日（土）

◇開催時間：午前10時～12時（受付開始午前9時30分～）

◇受講方法：会場 および Web (Zoom) での開催

（なお、コロナ感染状況により集合方式を中止し、すべてWebに変更させていただく場合がありますことをご了承願います）

◇会場：ユニオンプラザ福井 3階ホール（福井市問屋町1丁目35番地）

【対象】福井県内の勤労者の方

【定員】80名（会場30名・web50名）※先着順・定員になり次第締め切り

【参加費】無料

【申込締切日】令和5年2月17日（金）

お申込み・お問合わせ

公益財団法人 福井県労働者福祉基金協会

メール f-kikin@wing.ocn.ne.jp (メール申込用QRコード)

電話 0776-22-6222 (平日9時～17時)



※メールでお申し込みの際は、件名に「セミナー受講申込」と入力いただき、住所、氏名、年齢、性別、電話番号（日中連絡のつくもの）、受講方法（会場またはWeb）、メールアドレスをご記入の上お申し込みください。

福井県労働者福祉協議会主催 メンタルヘルス講演会開催！！

福井県労福協では、お二人の講師をお招きしメンタルヘルスに関する講演会を開催します。第1部は一般財団法人メンタルケア協会富山事務所長・精神対話士の「吉野 豊明氏」による、『精神対話士としての社会貢献活動』を講演いただきます。

第2部は、NPO法人 アサーティブジャパン会員トレーナーの大橋 春美氏に『自分も相手も大切にする伝え方』と題して、自分も相手も尊重しながら「話し合い」をして、誠実、率直、対等に話をしながら、お互いの問題を解決していくための対人関係コミュニケーションの講演となります。ぜひ多くの皆さんの参加をお願い致します。

【第1部】 演題：「精神対話士としての社会貢献活動」

講師：一般財団法人メンタルケア協会 富山事務所長
精神対話士

よしの とよあき
吉野 豊明 氏



<プロフィール>

38年間富山県警察官として勤務し、2017年の定年退職後、一般財団法人「メンタルケア協会富山事務所」を設立。精神対話士として自殺予防に取り組み、富山県の自殺未遂者支援を行っている。

【第2部】 演題：「アサーティブコミュニケーション ～自分も相手も大切にする伝え方～」

講師：介護福祉士
NPO法人 アサーティブジャパン会員トレーナー

おおはし はるみ
大橋 春美 氏

<プロフィール>

化学会社勤務後、医療事務職、専業主婦を経て、介護職に従事する。2010年～子育て支援団体に所属し、様々な子育て講座を企画・受講する中で「アサーティブコミュニケーション」に出会う。自身のコミュニケーションが変わることで周りも変わり、信頼関係の構築につながることを実感し、2017年トレーナー資格を取得。現在は、自主企画講座や福井県立大学公開講座など、アサーティブコミュニケーションを伝える活動をしている。

◇開催日：令和5年3月4日（土）

◇開催時間：午前9時30分～12時00分

◇受講方法：集合とweb方式でのハイブリット型で実施

（なお、コロナ感染状況により集合方式を中止し、web方式にすべて変更させていただく場合がありますことをご了承願います）

◇受講場所：ユニオンプラザ福井 3階ホール及びZOOMにて対応

【対象】福井県内の勤労者の方及びメンタルケアスペシャリスト資格取得者

【定員】80名（集合30名・web50名） ※先着順とし、定員になり次第締め切り

【参加費】無料

【申込締切日】令和5年2月20日（月）

お申込み・お問合わせ 福井県労働者福祉協議会

メール rofukukyo@sunny.ocn.ne.jp

電話 0776-21-5929（平日9時～17時）（メール申込用QRコード）



※メールでお申し込みの際は、件名に「メンタルヘルス講演会参加申込み」と入力いただき、住所、氏名、年齢、電話番号（日中連絡のつくもの）、受講方法（会場またはWeb）、メールアドレスをご記入の上お申し込みください。

